

●○○ 第167回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：築地から豊洲へ ～中央卸売市場の機能と役割を学ぶ～

講師：東京都中央卸売市場 管理部 広報・組織担当課長 東 国夫氏

日時：2014年11月15日（土）14:00～17:00

場所：トヨタ自動車（株）池袋アムラックスビル6階604会議室

◇はじめに

魚や野菜などの生鮮食品が安全・安心かつ潤沢に供給される仕組みを、東京都中央卸売市場ご担当者よりご説明いただくと同時に、予定されている築地から豊洲への市場の移転、さらには豊洲新市場の魅力などについてお話しをいただきました。

①「東京の市場 24 時」DVD、生鮮食品・卸売市場の基本的な流れ等全員で視聴。

②中央卸売市場の概要

- ・築地市場をはじめとして、都内には11か所の卸売市場がある。それぞれ特色を持った運営がされている。
- ・生産者→卸売業者（築地では7社）→仲卸業者→買出人（料理店・小売店等）→消費者の流れについて説明。
- ・「せり」について、一号物品：せりのみ／二号物品：せり＋相対／三号物品：相対のみ→せりは減少し、相対売りの比率が多くなっている。（相対＝1対1の取引）
- ・卸売市場の公的運営により、食の安定及び安全安心を確保する使命を果たしている。

③卸売市場の課題、築地移転の背景について

○老朽化

- ・鉄道輸送時代の施設構造、トラック輸送主体の時代に合わない。
- ・老朽化が進行し、耐震性能にも不安がある。

○狭小化

- ・駐車場・荷さばき場所等が不足。
- ・自動車／ターレ（電動台車）／ヒトの交通事故多発。

○品質・衛生管理面が時代に合わない

- ・開放型構造になっているため、様々な外からの影響を受ける。
- ・コールドチェーンが切れてしまう。

⇒築地敷地内での再整備も検討されたが、現代の要望に適合する施設構築のため、豊洲に移転する事が決定された。

#### ④豊洲新市場について

##### ○土壌汚染対策について

- ・土壌洗浄など万全を期している。

##### ○豊洲新市場の特徴

- ・閉鎖型の施設→コールドチェーンが切れない、カット野菜の流通等に有利。
- ・物流導線の整理により、スムーズな物流を実現。
- ・棟別役割の明確化。水産／青果／管理、卸／仲卸。
- ・環境への配慮、太陽光発電・緑化・雨水再利用等。
- ・見学者への配慮、見学導線の独立化・千客万来施設等。

#### ◇所感

生鮮食品の卸売流通について学ぶ貴重な機会となり、卸売市場の歴史から仲卸のシステム等学ぶべき情報が多々あった。

築地市場の深刻な現状を学ぶことにより、豊洲移転に至った背景と新市場の魅力についても全員で共有することができた。

普段あたりまえに口にしている生鮮食品の供給や安全安心の確保について、背景にある関係者の努力を知る意味で、消費生活アドバイザーとしてとても有意義な講演であった。

以上

報告者 33期 坂本 豊